

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメントメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘査して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

第32期（決算日 2025年11月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメントメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額						投資信託券率	純総資産額
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰	中落率		
28期(2023年11月13日)	円 10,586			円 0		% 1.4	% 98.0	百万円 9,932
29期(2024年5月13日)	10,402			0		△ 1.7	96.9	9,652
30期(2024年11月12日)	10,097			0		△ 2.9	94.7	8,775
31期(2025年5月12日)	8,382			0		△17.0	96.5	7,299
32期(2025年11月12日)	9,674			0		15.4	96.6	7,885

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

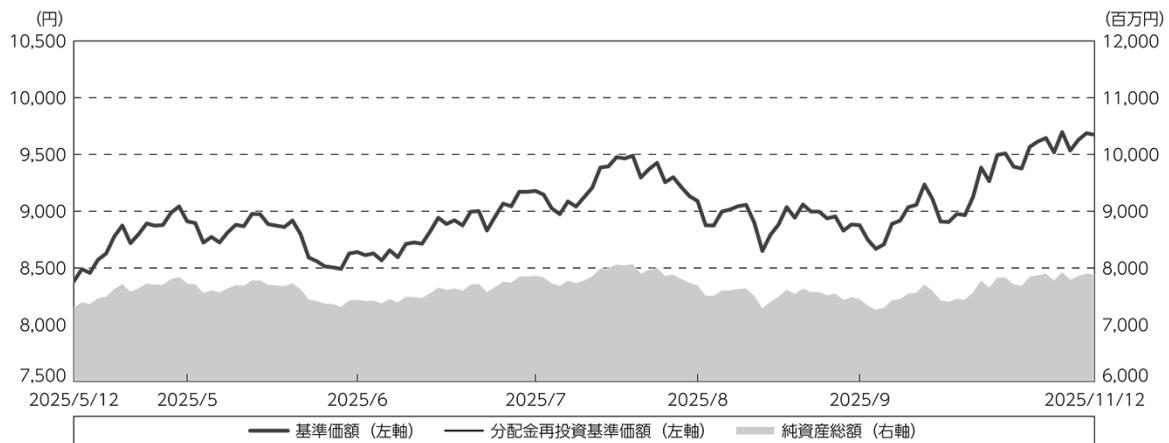
年月日	基準価額		投資信託券率	純総資産額
	騰	落		
(期首) 2025年5月12日	円 8,382		% —	% 96.5
5月末	8,911		6.3	96.5
6月末	8,640		3.1	97.1
7月末	9,179		9.5	97.3
8月末	9,090		8.4	97.3
9月末	8,877		5.9	97.4
10月末	9,614		14.7	96.7
(期末) 2025年11月12日	9,674		15.4	96.6

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2025年5月13日～2025年11月12日)

基準価額等の推移について



期 首：8,382円

期 末：9,674円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 15.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2025年5月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有株式が上昇したこと。
- ・通貨インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

投資環境について

インドネシア株式市場

期初から2025年6月半ばにかけては、米中間で相互関税を90日間引き下げるとの合意を受け、市場は上昇基調となりました。その後インドネシア中央銀行（BI）が金利を据え置いたことを受けて下落しました。7月以降は、政府による景気刺激策への期待や、米国とインドネシア間の米トランプ関税に関する合意に加え、BIの3会合連続の利下げなどが追い風となり、インドネシア株式市場は上昇トレンドをたどりました。9月半ばには国会議員の手当に関する抗議デモの影響で一時急落する場面もありましたが、財務大臣の交代をきっかけに財政支出拡大への期待が高まり、外国人投資家の積極的な買いも加わったことで、期末にかけて堅調な展開となりました。

為替市場

期初から2025年8月末にかけては、BIによる利下げや、政府の財政支出拡大への思惑を背景に、インドネシアルピアは米ドルに対し上下に変動しました。その後、期末にかけては、新財務大臣による積極的な景気刺激策を受け、財政赤字拡大への懸念が強まつたことから、インドネシアルピアは米ドルに対し、下落基調をたどりました。円は、期初から9月末にかけては、140円台後半でのレンジ取引が続きましたが、期末にかけて高市政権誕生による日銀の利上げ先送り観測を背景に、150円を超える円安・米ドル高が進んだことから、インドネシアルピアは円に対し上昇しました。

国内債券市場

期初以降トランプ関税に対する悲観的な見方が和らぐ中、概ね上昇を続け、2025年7月の参議院選挙での与党敗北による財政悪化懸念などから、8月後半には1.6%を超えました。その後、高市政権の誕生による物価高騰対策の一環としての財政支出拡大、日銀の利上げの先送りなどから期末にかけて10年国債金利は上昇し、1.7%近くで終わりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を実質的な主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。傘下の石油化学メーカーの精製能力拡大や再生可能エネルギー関連子会社の電力輸出への期待などから株価が上昇した石油精製メーカーのBarito Pacific Tbk PTなどの保有がプラスに寄与した一方、物価高の影響から消費者の購買力が低下し、さらにインドネシアルピア安などで原材料価格が上昇し、利益率の低下などを背景に株価が下落した食品メーカーIndofood CBP Sukses Makmur Tbk PTなどの保有がマイナスに作用しました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1～10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第32期
	2025年5月13日～ 2025年11月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,833

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 一印は該当がないことを示しています。

○今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

新財務大臣による成長重視の政策について財政悪化懸念はあるものの、消費者心理の改善につながり、株式市場にとっては短期的にはプラス材料となっています。セクターでは、インドネシア政府による低所得者支援政策や原材料価格の下落などにより消費関連セクターが恩恵を受けることが予想されるため、引き続き強気に見ています。また、通信セクターについては初期プランへの価格規制強化などから今後業界内での競争が緩和していくことが予想されることからポジティブに見ています。銀行セクターについては、貸出の伸び悩み、利ザヤの頭打ち、信用コストの上昇などへの懸念がありますが、配当利回りなどから見たバリュエーションは割安と考えています。素材株については、全体として株価のボラティリティが非常に高く、個別銘柄のファンダメンタルズに基づく選別投資が重要となっています。インドネシアの長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA国債インデックス（1～10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年5月13日～2025年11月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 67	% 0.738	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(28)	(0.305)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(38)	(0.416)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	1	0.015	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費）	(1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他の1）	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	68	0.753	
期中の平均基準価額は、9,051円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

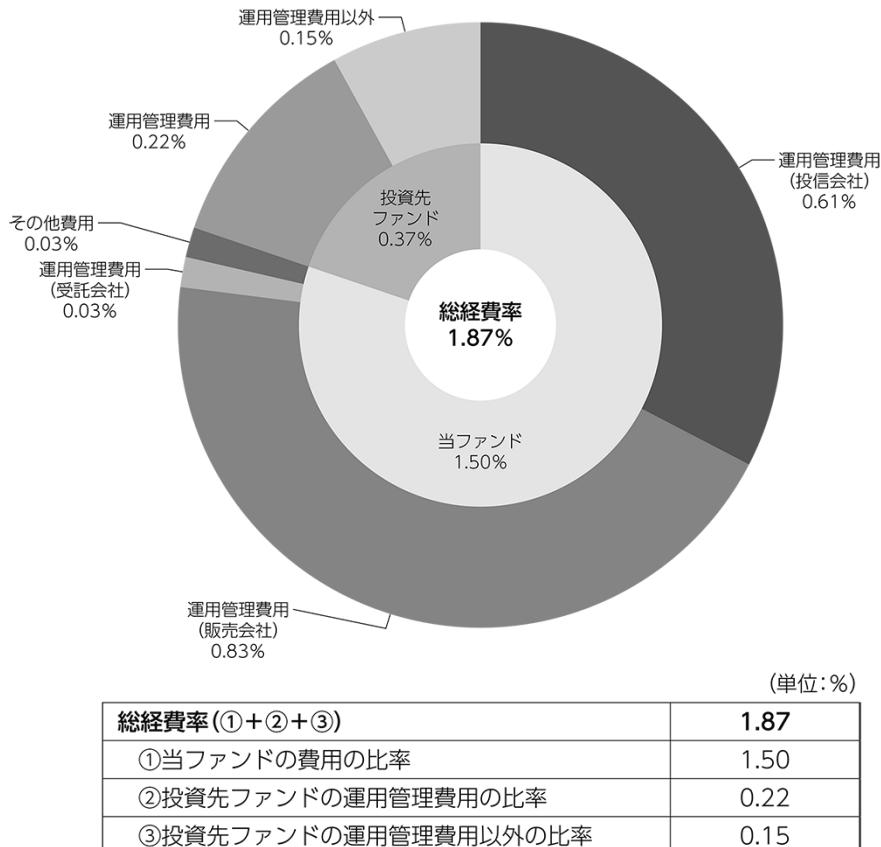
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月13日～2025年11月12日)

投資信託証券

銘柄			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国 米ドル建 ルクセンブルグ籍 [イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・エクイティ・ファンドクラスJ]	千口 —	千米ドル —	千口 236	千米ドル 3,800		

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月13日～2025年11月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末) 口数	当期末			比率 %
		口数	評価額	比 率	
イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型I(適格機関投資家向け)	千口 15,851	千口 15,851	千円 16,361	0.2	
合計	15,851	15,851	16,361	0.2	

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末) 口数	当期末			比率 %
		口数	評価額	外貨建金額 邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・エクイティ・ファンドクラスJ	千口 3,211	千口 2,974	千米ドル 49,277	千円 7,602,541	96.4
合計	3,211	2,974	49,277	7,602,541	96.4

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2025年11月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 16,361	% 0.2
投資証券	7,602,541	95.4
コール・ローン等、その他	351,251	4.4
投資信託財産総額	7,970,153	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産（7,648,825千円）の投資信託財産総額（7,970,153千円）に対する比率は96.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年11月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=154.28円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 8,016,433,206
コール・ローン等	304,928,866
投資信託受益証券(評価額)	16,361,467
投資証券(評価額)	7,602,541,956
未収入金	92,598,000
未収利息	2,917
(B) 負債	130,505,368
未払金	46,279,290
未払解約金	26,671,402
未払信託報酬	56,386,828
その他未払費用	1,167,848
(C) 純資産総額(A-B)	7,885,927,838
元本	8,151,308,897
次期繰越損益金	△ 265,381,059
(D) 受益権総口数	8,151,308,897口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,674円

(注) 元本の状況

期首元本額	8,708,867,640円
期中追加設定元本額	439,434,945円
期中一部解約元本額	996,993,688円

(注) 1口当たり純資産額は0.9674円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

○損益の状況 (2025年5月13日～2025年11月12日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 443,025
受取利息	443,025
(B) 有価証券売買損益	1,085,655,749
売買益	1,133,976,428
売買損	△ 48,320,679
(C) 信託報酬等	△ 57,560,616
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,028,538,158
(E) 前期繰越損益金	△ 1,220,426,578
(F) 追加信託差損益金	△ 73,492,639
(配当等相当額)	(1,127,934,623)
(売買損益相当額)	(△1,201,427,262)
(G) 計(D+E+F)	△ 265,381,059
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 265,381,059
追加信託差損益金	△ 73,492,639
(配当等相当額)	(1,127,934,623)
(売買損益相当額)	(△1,201,427,262)
分配準備積立金	366,642,963
繰越損益金	△ 558,531,383

(注) 損益の状況の中での(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中での(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中での(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(420,001円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,127,934,623円)および分配準備積立金(366,222,962円)より分配対象収益は1,494,577,586円(10,000口当たり1,833円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送させていただきました。

○お知らせ

該当事項はありません。

〈参考情報〉

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型
表示通貨	米ドル
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。
主な投資対象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証書、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。
ベンチマーク	IDX80 Index (IDX80指数) ^{*1}
ファンドの関係法人	運用会社 イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド 管理会社 イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。
運用報酬	年率0.225%
管理費用等	年率0.15%程度
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。
設立日	2007年7月2日
決算日	毎年12月31日

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募
表示通貨	日本円
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1~10年債) ^{*2}
ファンドの関係法人	委託会社 イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 投資顧問会社 イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
申込手数料	ありません。
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。
設定日	2002年8月26日
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)

*1 IDX80指数は、インドネシア証券取引所 (IDX) が算出している指数で、IDXの財産です。

*2 ICEの指標データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・インドネシア株式オーブン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメント - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2024年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

	2024年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期首純資産		105, 329, 723
収益		
配当金		2, 887, 351
短期金融市場預金利息		264
預金利息		34, 842
収益合計		2, 922, 457
費用		
運用報酬		551, 556
運営費用及びサービス費用		139, 648
その他費用		46
費用合計		691, 250
純投資収益（損）		2, 231, 207
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(4, 394, 873)
外国為替に係る実現純利益（損）		(102, 057)
実現純利益（損）		(4, 496, 930)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		(16, 790, 492)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		(41, 112)
未実現評価益（損）の純変動額		(16, 831, 604)
運用による純資産の純増加額（減少額）		(19, 097, 327)
資本金の変動		
投資証券の発行		22, 922, 262
投資証券の解約		(18, 901, 622)
当期の純資産の変動額		(15, 076, 687)
期末純資産		90, 253, 036

投資有価証券明細表 (2024年12月31日現在)
(米ドル表示)

銘柄	数量	通貨	評価金額	対純資産比率(%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Amman Mineral Internasional PT	6,201,000	IDR	3,254,682	3.61
Astra International Tbk PT	11,813,400	IDR	3,590,259	3.98
Bank Central Asia Tbk PT	14,508,200	IDR	8,730,952	9.67
Bank Mandiri Persero Tbk PT	23,916,620	IDR	8,411,570	9.32
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	15,056,672	IDR	4,053,553	4.49
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	34,817,717	IDR	8,736,523	9.68
Barito Pacific Tbk PT	19,876,312	IDR	1,135,339	1.26
Chandra Asri Pacific Tbk PT	5,340,600	IDR	2,487,810	2.76
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	14,456,000	IDR	4,266,452	4.73
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	4,198,200	IDR	1,406,399	1.56
Dayamitra Telekomunikasi PT	33,891,042	IDR	1,355,963	1.50
GoTo Gojek Tokopedia Tbk PT	961,817,200	IDR	4,165,431	4.61
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	6,233,400	IDR	2,629,988	2.91
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	6,089,900	IDR	4,298,888	4.76
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	6,067,200	IDR	2,896,492	3.21
Indosat Tbk PT	22,554,000	IDR	3,471,102	3.85
Kalbe Farma Tbk PT	46,237,700	IDR	3,902,406	4.32
Mayora Indah Tbk PT	16,943,500	IDR	2,921,447	3.24
Merdeka Copper Gold Tbk PT	25,503,750	IDR	2,553,999	2.83
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	23,088,900	IDR	4,084,898	4.53
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	46,421,100	IDR	7,779,449	8.62
Unilever Indonesia Tbk PT	18,163,600	IDR	2,124,660	2.35
			88,258,262	97.79
株式合計			88,258,262	97.79
投資総額			88,258,262	97.79
その他資産			1,994,774	2.21
純資産			90,253,036	100.00

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 23	% 0.219	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	1	0.013	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	24	0.232	
期中の平均基準価額は、10,493円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						残存期間別組入比率
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下	5年以上	2年以上	
				組入比率		2年未満	
国債証券	千円 739,500	千円 745,120	% 98.2	% —	% 49.0	% 15.2	% 33.9
合計	739,500	745,120	98.2	—	49.0	15.2	33.9

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組入れなしです。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末				償還年月日
	利	率	額面金額	評価額	
国債証券		%	千円	千円	
第351回利付国債(10年)		0.1	60,000	58,465	2028/6/20
第354回利付国債(10年)		0.1	59,000	56,972	2029/3/20
第359回利付国債(10年)		0.1	175,000	166,551	2030/6/20
第13回利付国債(30年)		2.0	42,000	44,553	2033/12/20
第14回利付国債(30年)		2.4	66,000	72,205	2034/3/20
第75回利付国債(20年)		2.1	20,000	20,022	2025/3/20
第80回利付国債(20年)		2.1	43,000	43,232	2025/6/20
第87回利付国債(20年)		2.2	55,000	55,906	2026/3/20
第91回利付国債(20年)		2.3	135,000	138,277	2026/9/20
第117回利付国債(20年)		2.1	84,500	88,933	2030/3/20
合計			739,500	745,120	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。